

青谷かみじち遺跡

NEWS



Vol. **19**
2021 Summer

発行：とっとり弥生の王国推進課
青谷上寺地遺跡整備室
〒689-0952
鳥取市青谷町青谷 667
鳥取市青谷町総合支所 2F
電話 0857-85-5011



6月から工事を再開しました。弥生時代の地形復元や、展示施設の地盤を整備するための土を搬入し、敷きならす工事を山陰自動車道の南側で進めています。2023年秋のオープンを目指しています。ご期待ください。

史跡整備工事を再開しました



穴の中に廃棄された土器

現地説明会の申込方法

申し込み開始：7月26日（月）午前8時30分から（先着順）
申し込み先：とっとり弥生の王国推進課 青谷上寺地遺跡整備室
申込方法：電子メール（tottori-yayoi@pref.tottori.lg.jp）、
電話（0857-85-5011）
ファクシミリ（0857-85-5012）のいずれか
※ご希望の回（第1回午前10時から 第2回午前11時から
第3回午後1時から 第4回午後2時から）を添えてお申し込みください。各回の定員は15名です。

発掘調査の現地説明会を開催します！

今年度の発掘調査がスタートして約2か月たちました。調査を進めていく中で、これまで不明な部分の多かった北エリアの様子を知るうえで重要な発見が相次いでいます。内海に面し軟弱な砂層の広がっていたこのエリアは、古墳時代前期（約1,700年前）に、土木工事により整備され盛んに利用されるようになったようで、山から運んだ土を重ね造成された地盤の上でたくさんのお墓（過去の人間活動の痕跡）が見つかっています。これらの遺構の中には、建物の可能性を検討しているものや、たくさんのお墓を廃棄した穴などもあります。

これから今年度の調査成果を、8月1日（日）に現地説明会を開催し公開しますので（新型コロナウイルス感染予防のため、左に記したように事前申込制とさせていただきます）、姿を現した青谷上寺地遺跡をご覧くださいと思います。

土曜講座が始まりました！

6月5日（土）に第1回講座「石から探る青谷上寺地遺跡―石器づくりと石材の流通―」を開催しました。当課の北浩明文化財主事が講師を務め、青谷上寺地遺跡の石器や石材の流通、遠隔地との交流に関する最新の研究成果について紹介しました。新型コロナウイルス対策のため、オンライン配信のみとなりましたが、29名の方に参加して頂きました。

第2回講座「弥生時代建築の復元について」は7月31日（土）に開催予定です。講演とトークセッションの2部構成で、弥生時代の建築について考えます。ただいまオンラインラインでの参加者を募集中です。詳しくは当課のホームページをご確認ください。



オンライン配信の様子

「へそ石」発見！

出土品の調査から

弥生時代のアクセサリの一つである管玉は、円筒形に加工され、ひもを通す穴が開けられています。穴は石の錐で開けますが、片側から開けていきますので、穴が開ききる寸前に錐の圧力によって管玉の端が薄く剥がれます。写真のものが剥がれたかけらです。錐の先端の形が残されており、それがまるでおへそのようなので「へそ石」と呼ばれています。大きさは2ミリほどのとても小さなものです。青谷上寺地遺跡では初めての発見であり、ここで管玉を作っていたことを裏付けるものです。

